

令和3年1月15日

内閣総理大臣
厚生労働大臣
経済産業大臣
経済財政政策担当大臣 } 様

東京都中央区議会議長
押田 まり子

新型コロナウイルス感染対策に関する要望書

年末年始から、陽性者、重症患者の数が高水準で推移しているなかでの緊急事態宣言は、感染の拡大を防ぐ意味で必要な措置ではありますが、東京駅に接し、国内外を問わず多くのビジネスマンが去来する中央区は、感染爆発や医療危機と常に背中合わせです。

他方、銀座、築地、日本橋など日本を代表する飲食店街を抱える本区は、取引先等関連事業者や救済対象となっていない喫茶店、早朝営業の飲食店が数多くあり、それらはまさに存亡の危機にあります。

以上より、感染拡大防止と生活経済を守るための更なる支援が必要であり、下記の事項につき、その実現を強く要望します。

記

1. 地方自治体との早期の協議連携のうえ、地域特性に適ったワクチン接種の体制を確立して、円滑に実施すること。
2. 病床の増床と感染症専用病院を新設すること。
3. 緊急小口資金の特例貸付の延長や雇用対策を強化すること。
4. 飲食店関連事業者や喫茶店等他業種を含めた中小企業への経済支援策を実施すること。
5. 据置期間延長等融資制度の弾力性ある運用と金融機関による貸し渋り、貸し剥がしへの懸念を払拭すること。

以上